

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009.11.10
No.995

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

自治体にはたらく
女性の全国交流集会
in ちば

11月28日(土)~29日(日)
千葉県教育会館 ほか

新しい未来をつくるう！ 11・8 国民大集会に3万5千人

11月8日、不況打開・なくせ貧困、雇用確保、守ろう！いのちと暮らしをスローガンに、「新しい未来(あす)へ！11・8 国民大集会」が東京・代々木公園で行われ、全国から3万5000人、愛知県からは282人が参加しました。集会後、参加者は3コースに別れ、「格差と貧困をなくそう」と元気に明治公園までデモ行進しました。



貸下げ
住宅手
地域当

トリプル攻撃をはね返せ 怒りの声をさらに広げよう

史上最悪の削減勧告、住宅手当の持ち家分廃止、地域手当の国基準の押しつけという、総務省・県市町村課によるトリプル攻撃をはね返せと、各単組の力強いたたかいが広がっています。

若年層の引き下げ緩和 名古屋ブロック

名古屋ブロックの各単組では、10・15に、2千人を集めた決起集会など、組合員の怒りと要求の強さを結集し10月19日から20日未明にかけて、ねばり強い交渉を実施。若年層の給料表の引き下げ率の緩和や、世帯主にかかわる住宅手当の存続、経過措置などを引き出しました。引き続き、5級以上の昇格制度の抜本的な改善や、臨時・パート職員の引当き休暇などを積極的に検討」などの回答を引き出しています。

また、非正規の処遇改善では、豊橋が「夏休付与」、犬山では「臨時・パート職員の引当き休暇などを積極的に検討」などの回答を引き出しています。



職場からの参加も・豊橋市職労

住宅・持家維持 豊橋市職労

豊橋市職労の第1回交渉が11月6日行われ、地域手当引き下げにとまなう、賃金改善を引き続き行う。持ち家にかかわる住宅手当は、国と地方自治体は違いますが、加算部分はなくす。4700円は維持する。『年末年始の時間外割増率』



秋 seasonal 年末闘争の前進をめざし、「10・30全県労働者決起集会」が名古屋市・若宮広場で開催され500人が参加。三菱電機「ハケン切り」とたたかう仲間が連帯あいさつ、「企業の差別的な扱いに對し、声を上げられなかった人たちがみんなの裁判です。労働者の権利が守られるよう勝ち抜く」と力強く語られました。決意表明では、西尾市職の築瀬委員長が、幡豆3町

ラス改善へ検討 碧南市職

碧南市職の第1回交渉は11月2日に行われ、持ち家にかかわる住宅手当について、支給要件を世帯主と所有者に変更するが、制度は残す。額については今後の労使協議、ラスパイレスが下がっていることを認め、

問題点の分析をすすめ改善を検討すると回答。第2回交渉でさらなる前進をめざすことにしています。



保育士補充は100% 清須市職労

清洲市職労の交渉も6日に行われ、来年度の保育士の退職補充は100%行う。ラスパイレスの引き上げに向け研究する、との回答を引き出し、各単組とも11月9日の週からの、第2次交渉ゾーンで追い込みを図ることとしています。

生活危機突破・賃金改善を 10・30 全県労働者決起集会

決起集会」が名古屋市・若宮広場で開催され500人が参加。三菱電機「ハケン切り」とたたかう仲間が連帯あいさつ、「企業の差別的な扱いに對し、声を上げられなかった人たちがみんなの裁判です。労働者の権利が守られるよう勝ち抜く」と力強く語られました。決意表明では、西尾市職の築瀬委員長が、幡豆3町

との合併問題で、「住民のためにならない合併は反対」と強い決意を述べ、福祉保育労・藤原書記長は、「公務員の賃金・一時金カットが、民間施設職員にも悪影響を与える」と怒りを込め、ともにたたかう決意を語りました。

参加した長久手町職労の保育所部会のみなさんは「賃下げは許せません。公務も民間も関係なく、1人の人間としてがんばっていきましょう！安心して生活できる賃金を！」、「非正規も正規も、1人1人の負担が増えている。正規保育士をもっと増やしてほしい」と要求を語ります。

組合員の生活守れ！蒲都市職

1000円は廃止するが制度は残す。地域手当については、県・近隣市等の状況を参考に引き下げの方向で検討したいが、現段階での協議事項からは外す」としました。組合は、現業職の賃金改善なども含め追求を強めることとしています。

「言いたい劇場」

小菅りや子



自治労連共済 安心
火災共済 安い掛金



国保料の引き下げなど 福祉・医療・介護の充実求め

自治体キャラバン



自治労連や愛知社保協などが毎年行っている「福祉・医療・介護など社会保障の充実を求める」自治体キャラバン」が10月27日～30日にとりくまれました。

30日に訪問した春日井市では、参加者から「低所得者に対する介護サービスの利用料の減免を拡充してほしい」「実態に合ったサービスの提供をしてほしい」など訴えました。また、子どもの医療費助成の拡充するよう要請、春日井市、尾張旭市は、「子育て支援のありかたなど、総合的な観点から、ひきつづき検討する」と回答しました。キャラバン行動などを通じて、多くの自治体で08年4月から、入院中学校卒業まで、通院小学校3年生までに拡大しています。

自治体にはたらく職員の安全衛生研修会が10月23日、金山・労働会館で開催され、145名が参加しました。今年「メンタルヘルスと職場巡視の視点」に焦点を当て、第1講義を桶狭間病院医師の鈴木章世先生が「心がホットするひと工夫、うつ病の予防と対応を含めて」と題して講演。う

つ病の要因として、職場や家庭などの様々な心のエネルギーの低下要因をあげ、治療方法として、体とこころの休養をとることが大切と解説。また、食生活による脳への影響は非常に高く、脳機能を高める食事の工夫としてビタミン・ミネラルの補充と適度な運動と睡眠の重要性を上げました。第2講義は滋賀医科大学



連帯の“輪”をつくり運動を広げよう

自治体にはたらく非正規職員交流会

「正規・非正規がひとつになつて、処遇改善に力を出そう」と、11月1日、あいち自治体にはたらく非正規職員の交流会が県本部で開催され、臨職・嘱託・有期雇用労働者など20名が参加し、学習と交流を深めました。はじめに、自治労連の大場みゆき非正規・

かいを強めている報告。半田市職の臨職部会から「グチり場」をつくらせてきた。グチり場だけでは解決しないと組合に入つて、少しずつだが改善し勇気もでた」と報告。安城パート分会からは「先輩ヘルパーが組合を立ち上げ、社協と交渉し有休やボーナス、休業補償など勝ち取ってきた。今後も活動を強める」と決意が語られました。名古屋保育臨職の方から、週休や欠員、定員超過

対応など5種類も6種類もいる臨時保育士の仕組みを紹介し、「一時金や交通費の全額支給の要求とあわせ、3回更新後、2ヶ月間の再雇用禁止期間があり、この期間の大幅短縮を求めている」と訴えられました。その後、「非正規・関連労働者の処遇改善の運動の中心主体は非正規・関連労働者自身。県内の連帯の輪である県本部関連協をつくらせて運動を進ませよう」と基調報告が行われ、その後交流しました。

安全衛生に「待たなし」 労安研修会に145名が参加



来年は優勝めざしてがんばるぞ

バレーボール

名古屋市職労 準優勝!!

自治労連全国スポーツ大会

自治労連・自治労連共済20周年記念となる、第21回自治労連全国スポーツ大会が10月22日、24日、軟式野球は若手県盛岡市および滝沢村、バレーは高知県高知市で同日開催されました。東海北信ブロック代表として野球・バレーともに名古屋市職労チームが出場しました。

バレーは、リーグ戦を勝ち抜き決勝トーナメントに進出。準決勝で岡山市職労（岡山）と対戦し、安定したプレーで2セットをとり8年ぶりの優勝めざして決勝へ。決勝戦は名古屋VS自治労連特区連（東京）。名古屋が第1セットを21-17

愛労連パート・臨時などの 元気の出る集会

とき 11月23日（月・祝）
13時受付 13:30～19:00
ところ 労働会館東館ホール

実践で学ぶ 第14回 機関紙宣伝学校

11月1日、金山・労働会館で愛労連主催・自治労連愛知県本部で、第14回機関紙宣伝学校を開催し、50人が参加しました。



主催者を代表して愛労連議長・樽松さんが「何を伝えるか、みなさんのつくる機関紙が世の中を動かしている。機関紙学校で実践的に学び、さらに良い機関紙をつくりましょう」とあいさつしました。活動報告のあと、3つの分科会に分かれ、パソコンを使った新聞づくりや、デジタルカメラの基礎を学び、実践で写真をとり合評するなどしました。

単組定期大会 役員紹介

小坂井町職労11月4日
執行委員長 中河 伸年
副執行委員長 山口 晴彦
書記長 伊藤 義浩
書記次長 酒井 則広
財政部長 紅林 和宏